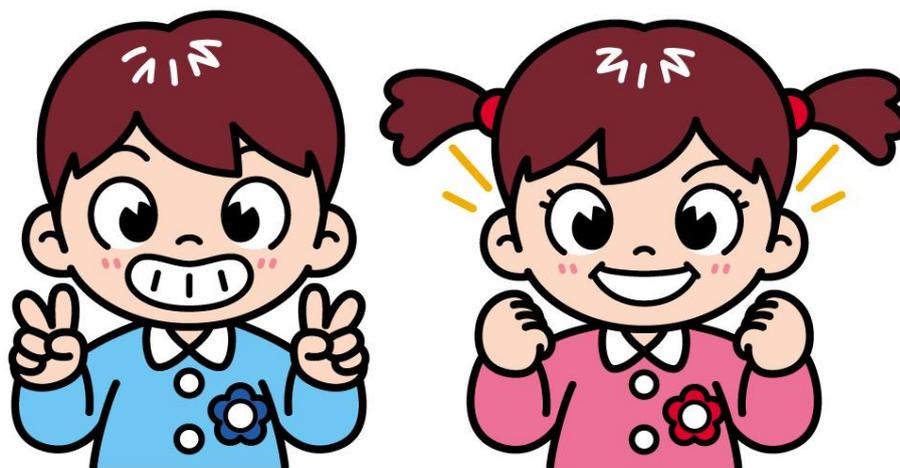


平成24年度

藤岡市男女共同参画

子育て支援ニーズについてのアンケート調査  
集計結果報告書



平成25年3月

藤岡市男女共同参画推進協議会

## 1. 調査の目的と方法

男女共同参画の視点から女性が社会で活動するための環境整備の一環として、子育て中の保護者が持つ行政に対する子育て支援ニーズを捉え、今後の施策に反映させるための資料とする。併せて調査対象者に対して男女共同参画についての資料を配布し啓発活動も実施する。

藤岡市男女共同参画推進協議会委員及び事務局が保育施設へ訪問し、書面による調査を依頼。保育施設から保護者に調査票を渡してもらい、保護者からの回答は保育施設で保管してもらい、一定期間を置き事務局が保育施設から調査票を回収する。

調査票の問1は、B, C, D, Eの設問が『藤岡市次世代育成支援行動計画（後期）「藤岡市子ども未来プラン（後期）」』（平成22年3月発行）に収録されている「藤岡市次世代育成支援に関するニーズ調査」（7）行政サービスへの要望（平成21年1月～2月実施）の中で、設問に対して回答の多かった要望を基に選択し、設問内容を一部改編して用いています。また、A, Fの設問については男女共同参画の視点から子育て支援に関する行政への要望を調べる目的で設定しています。

調査は設問に関しての具体的な要望を捉えることを主目的としています。回答方法は、子育て支援の充実を望む設問の□に✓チェックを入れてもらい、加えて設問内容に対する具体的な意見を記述してもらった形としました。またA～Eの設問下部には[ ]の中に現在実施されているサービスを表記し、Fの設問下部には過去のアンケートで寄せられた意見を例として表記しています。

## 2. 調査対象

藤岡市にある保育園、幼稚園、児童館の保育施設を利用する子どもの保護者

## 3. 調査期間

平成24年12月3日（月）から平成25年1月21日（月）

## 4. 回収状況

対象保育施設 28（保育園21、幼稚園6、児童館1）

依頼数 534、有効回答数 377、回収率 70.6%

## 5. 報告書中の表記について

(1) 本報告書では集計結果の数値を小数点以下第2位で四捨五入しています。

そのため、各回答比率の合計が100%に一致しないことがあります。

(2) グラフ中の数字は回答数を示しています。またグラフ中の設問内容についてはアルファベットの後に内容を一部省略して表記しています。

【調 査 票】（A 4 版用紙 1 枚表裏）

藤岡市男女共同参画推進協議会

子育て支援に関するアンケート調査 <調 査 票>

施設名 \_\_\_\_\_

問 1 下記の項目について、子育て支援の充実を望むことがあれば、□に✓  
チェックを入れていただき、その具体的な内容を教えてください。

（ [ ] の中は現在市関連で実施されているサービスです ）

A. 女性が働きながら子育てしやすい環境づくりをして欲しい

[ 児童館、保育園、幼稚園、学童保育所、子育て支援センター、病後児保育、休日保育 等 ]

（意見を自由に記入して下さい）

B. 児童館及び子育て支援センターなど、親子が安心して集まれる身近な場、  
イベントの機会が欲しい

[ 藤岡中央児童館、地域子育て支援センター、総合学習センター内ふれあい広場 ]

（意見を自由に記入して下さい）

C. 子育てに困った時に相談ができ、情報も得られる場所を作って欲しい

[ 市役所子ども課、地域子育て支援センター ]

（意見を自由に記入して下さい）

- D. 専業主婦など誰でも気軽に利用できるNPO等による保育サービスが欲しい [ ファミリー・サポート・センター(会員登録制) ]  
(意見を自由に記入して下さい)
- E. 安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備して欲しい  
[ 中学生まで医療費無料化、第3子以降保育料無料化、幼稚園就園奨励費 等 ]  
(意見を自由に記入して下さい)
- F. 子育て支援全般について自由な意見をお聞かせください  
( 例：・出産と子育てで退職した女性が復職しやすい環境整備をしてほしい  
・男女が協力して仕事と子育てが両立できる社会にしてほしい  
・父親が参加しやすい子育てイベントを増やしてほしい  
・地域全体で子育て支援を進められるようにしてほしい 等 )  
(意見を自由に記入して下さい)

問2 このアンケートに回答されている方の、保育施設を利用する子どもとの続柄を教えてください。(□に✓チェックを入れてください)

- 父 親
- 母 親
- その他

\*回答が終わりましたら、封筒に入れて園へお預け下さい。

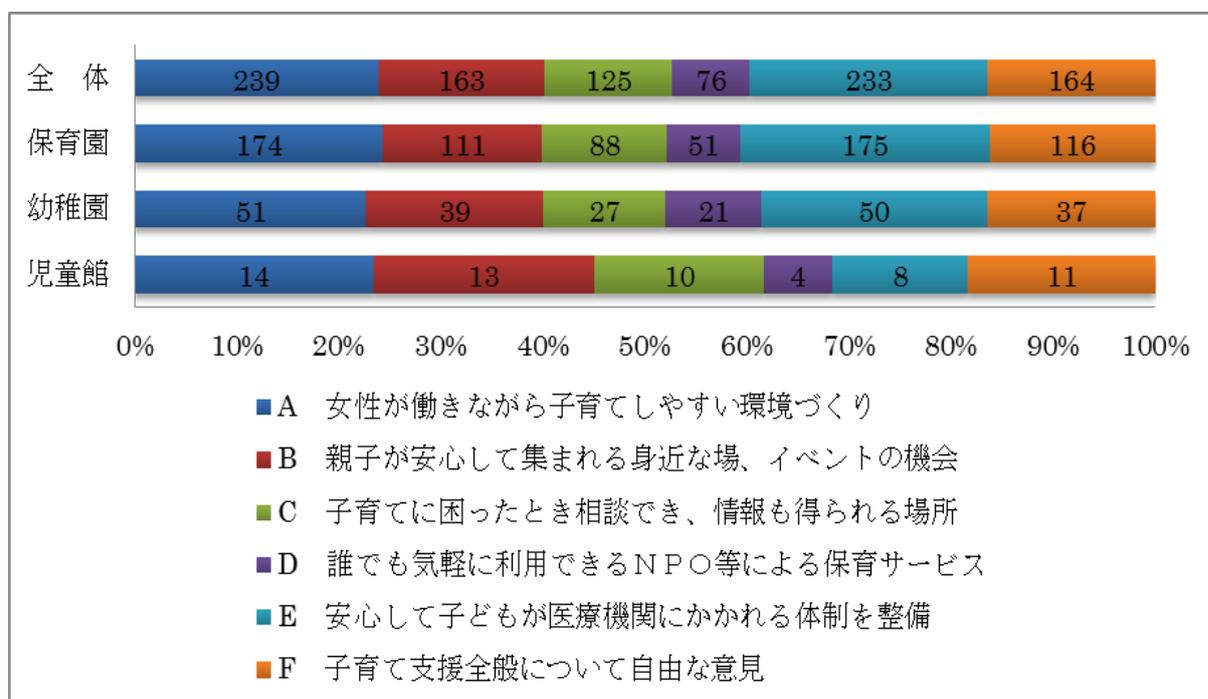
28 施設へアンケートを実施し、保育園へは 21 園に対して 404 依頼し回答数 274 で回収率 67.8%、幼稚園へは 6 園に対して 110 依頼し回答数 85 で回収率 77.3%、児童館へは 1 館に対して 20 依頼し回答数 18 で回収率 90%となり、全体では 70.6%と 7 割を超える回収率でした。また施設ごとの視点では、回収率 100%の施設が 8 施設、加えて回収率が 90%を超える施設は 2 施設あり、子育て支援に関する保護者の関心の高さがうかがえました。なお一つの施設への依頼数は 20 で、施設を利用する子どもの数が 20 人に満たない施設(2 施設)へは利用している子どもの数もしくは保護者の数としています。

### 問 1 の設問について

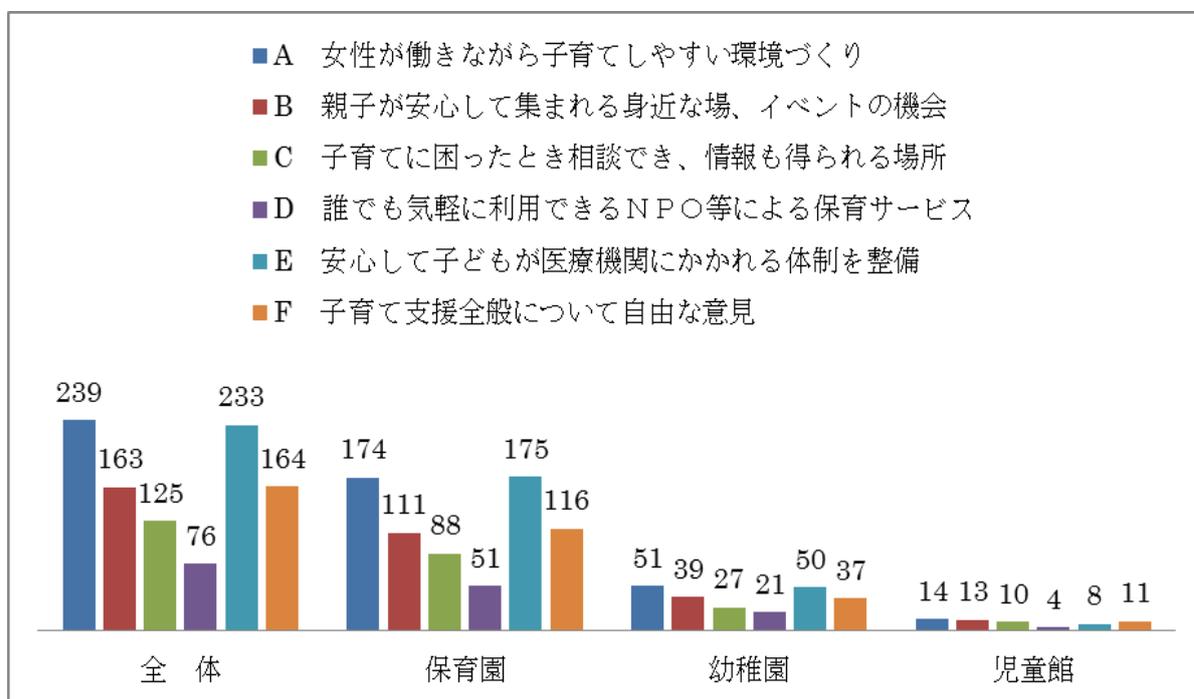
A から F までの 6 つの設問に対する子育て支援の充実を望む意思表示である設問への✓チェック数は全体で 1,000 あり、具体的な意見としての記述内容は 6 9 2 寄せられ、チェックを入れた人のおよそ 7 割から具体的な意見がありました。

設問へのチェックがあった数の割合をみると、すべての施設全体では、設問 A は 239 (23.9%)、設問 B は 163 (16.3%)、設問 C は 125 (12.5%)、設問 D は 76 (7.6%)、設問 E は 233 (23.3%)、設問 F 164 (16.4%) となり、チェックが多い順にまとめると A・E→B・F→C→D と続きます。保育園と幼稚園でも同様の傾向が見られますが、児童館のみ A・B→C・F→E→D へと続き若干の違いが確認できました。

設問へのチェックがあった数と割合

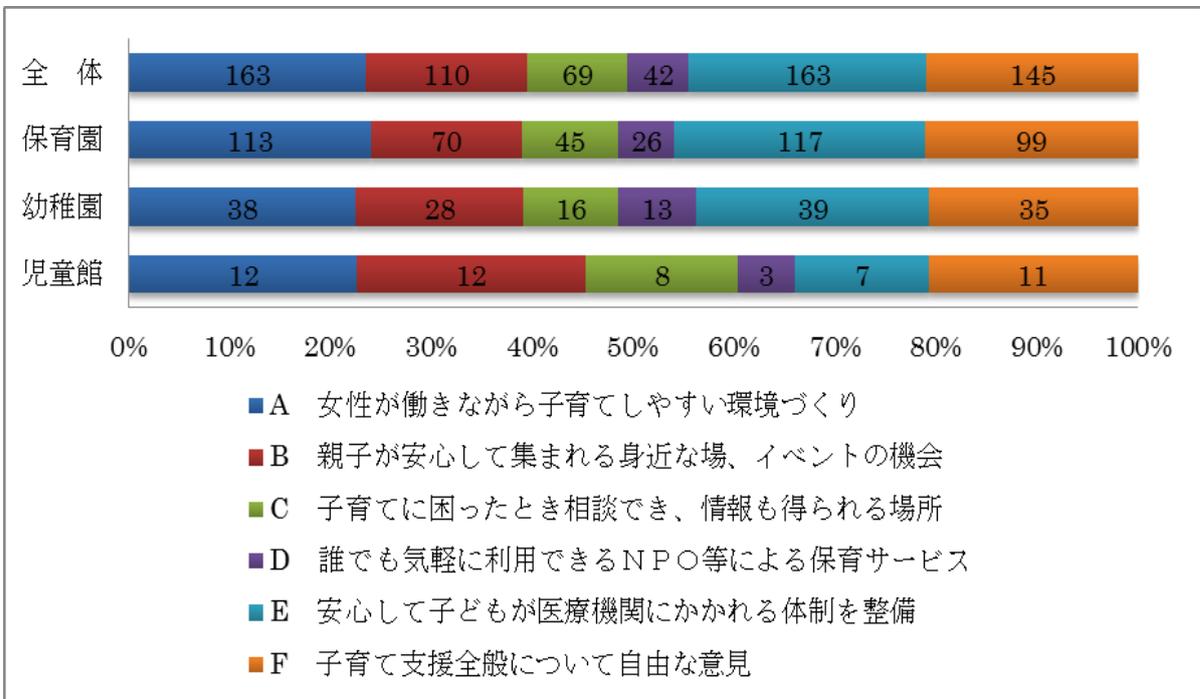


### 設問へのチェックがあった数

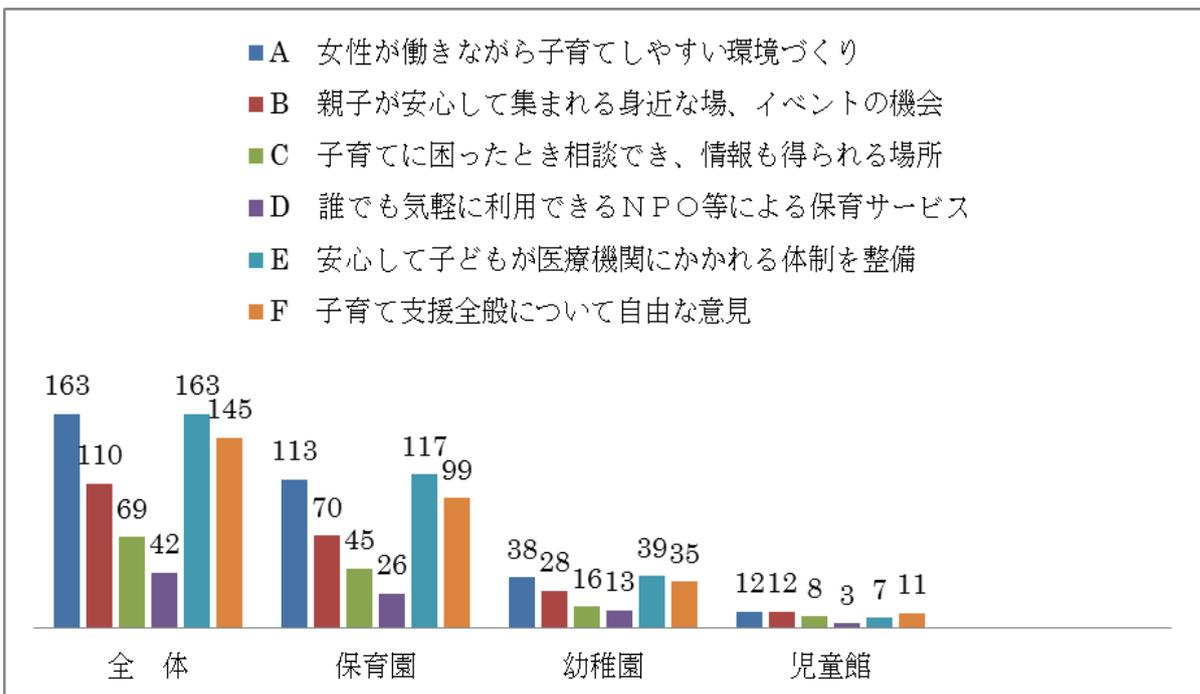


設問への意見があった数の割合をみると、すべての施設全体では、設問Aは163(23.6%)、設問Bは110(15.9%)、設問Cは69(10.0%)、設問Dは42(6.1%)、設問Eは163(23.6%)、設問Fは145(20.9%)となり、意見が多い順にまとめるとA・E→F→B→C→Dと続きます。保育園と幼稚園でも同様の傾向が見られますが、児童館のみA・B→F→C→E→Dと続き若干の違いが確認できました。

設問への意見があった数と割合



設問への意見があった数



## A. 女性が働きながら子育てしやすい環境づくりをして欲しい

[ 児童館、保育園、幼稚園、学童保育所、子育て支援センター、病後児保育、休日保育 等 ]

チェック数239、意見数163で、ともに設問の中では最多となっており、回答者の1/4が関心を寄せている設問でした。具体的な意見の代表的なものは以下のとおりです。

- ・今、女性が仕事をするのも厳しい時代だと思います。子供が具合が悪く子供をあずけて仕事に行ける環境がない人がたくさんいると思います。でも仕事が休めない。休みが多くなると仕事、職場に影響する。そんな時でもあずけられる環境があったらいいと思います。
- ・学童保育も保育園と同様に遅い時間まで保育して欲しい。
- ・（「保育園」「学童保育所」に○印）とても満足しています。
- ・自分の実家がなく、頼れる人がいない場合など、働いていると子供が病気になった時など、サポートしてくれるシステムがあるといい。
- ・藤岡の保育園はなかなか充実していると聞きました。他を知らないけれど、今、働きながら保育園に通わせていて特に問題はないし、すごくよくみてもらっているといます。保育園は私にとってとっても充実しているし、働く手助けをしてもらっていると感じられます。
- ・土・日やっている子育て支援センター。家で祖父母に見てもらっている子供を、保育園に入れる前に、同世代の子供と遊ばせたいと思った時に、そういう所がなかった。
- ・小学校での（学校内で）学童保育をしてほしい。
- ・児童館がどこにあるのか分からない。児童館の場所、イベント情報などが分からない。
- ・核家族や遠方から来た人が身内にたよれない場合、病後児保育や休日保育をしてくれる施設がもっとあるといいと思います。
- ・病後児保育を行う保育園をもっと増やして欲しいです。熱が少しでもあると預てくれない保育園がほとんどだと思います。熱があっても子どもは元気な場合も多いので、各園でひとクラスぐらい病気の子どもを預かってくれるクラスを作ってくれたら良いと思います。全く知らない園に預けるよりも、通っている園でみてもらえた方が安心してお願いすることができると思います。預けるところがなく仕事を何日も休み、勤務先に嫌な顔をされ辞めざるをえない人も多いのが現状だと思います。女性が働く中で、とても大事なものだと思います。
- ・今のところは現状で満足しています。
- ・病後児保育など手続きがもう少し簡単だと助かる。
- ・子供が軽い症状の風邪の時に、保育園で預かってもらえるととても助かります。病児専門のスペースが保育園内にあって、看護師の方に見てもらえればとても安

心です。

- ・子供が病気になってしまった時に(かぜなど)仕事を休まなければならないので、少しよくなってきたかぜの子供でもみていただける病後児保育はありがたいです。
- ・学校の振替休日や、学校行事などによる就学時間の変更などで通常の学童保育の時間以外にも、学童の預かりを対応してほしい。
- ・児童館の数を増やして欲しい。
- ・病後児保育施設をもっと増やして欲しいです。今ある施設も、どこにあるのか、受け入れ方法なども詳しく教えて欲しいです。核家族共働き世帯にとって大切な情報なので、よろしくお願いします。
- ・検診などは平日ではなく、土曜日などにしてほしい。(仕事があるため)
- ・子どもが小学校に入学後、働く親としては通い慣れ親しんでいた幼稚園で学童保育をして頂けると安心できます。母子共に初めての経験で不安な時期もあると思うので、ほっとできる、又相談できる幼稚園でも学童保育をぜひして頂きたいと思います。
- ・保育園、学童保育所は充実していて、他市よりは子育てしやすいと思います。  
＜父親からの意見＞
- ・幼稚園にも3歳児未満を扱うセクションをしっかりと確保したり、逆に卒園後にも幼稚園に学童保育所として預かる仕組みを作るなど。実際に子どもを預けた(預けたい)幼稚園が活動の幅を広げることにより、親とすれば安心して預けることができるし、子どももストレスを感じにくくなるのではないかと。
- ・病気の子供をあずけられる保育園または幼稚園といった施設を充実させていきたい。病気とわかっていてもあずけなければ仕事に行けない親は、そのままあずけてしまい、その結果園内で病気が広がるといったケースがよくあります。

## B. 児童館及び子育て支援センターなど、親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会が欲しい

[ 藤岡中央児童館、地域子育て支援センター、総合学習センター内ふれあい広場 ]

チェック数163、意見数110で、どちらの数も4番目の関心度となる設問でした。具体的な意見の代表的なものは以下のとおりです。

- ・どんなイベントが行われているのか、どんな施設があるのか、よく理解できていないのが現状です。もっと多くの人にわかるようにしてほしいです。
- ・市街地では集まりやすいけれど、郊外には集まれる所がない。
- ・とても充実されていて、よく利用しています。
- ・今のままでいいと思います。子育て支援センターは色々あり、助かっています。

- ・平日だけでなく、休日親子で参加できるイベントや、同じ年くらいの子どもたち（親たち）が集まれる場やイベントをしてほしい。
  - ・小さい子を対象としたイベントや教室等あるが、平日の昼間に開催されることが多いように思います。働いていると参加したくても出来ないことが多いので、大変かと思いますが、土・日等休日に開催していただけると参加しやすいです。
  - ・子育て支援センターを利用したくても初めての園には足を運びづらいです。もっと気軽に行けるように（例えば近くの保育園を紹介してくれるだとか、支援センターのお便りなどもらえたり）きっかけを作ってもらえるとありがたいです。
  - ・充実していると思います。
  - ・今でも十分あるので助かっています。
  - ・藤岡は子育て支援が充実しているので楽しく過ごせてます。年齢別で曜日が分かれてなく毎日行けるのが良い。英語のイベントがないので多くしてほしい。
  - ・地元でなかったの、知り合いがいなかったのですが、支援センターを利用し、ママ友達ができて本当に良かったです。
  - ・市の中心部だけではなく、いくつかの地域にあるといい。晴れた日は公園に行けるが雨の日でも子供が体をうごかせる（例えばデパートのわんぱくパークとか）様な施設がほしい。
  - ・昔のように公園など子供達が集まって遊べる場所が少なくなった今、児童館や支援センターはとても大切な場所だと思います。子供も同じ月齢のお友達とふれあうことで新しい発見をし、そんな我が子の姿をみてママもうれしかったり、親子が成長できる場所でもあると思います。
  - ・親子が安心して集まれる身近な場所：公園の整備を増やす。子どもがもっと安全にのびのびと外遊びができる環境を!! イベント：これは、親が集まって子どもを放ったらかしで、しゃべるだけの機会になると思います…。
  - ・親子が安心して遊べる場所として、もっと公園を増やし、遊具も小児向けのものを設置していただきたい。
  - ・児童館のような施設があるのは本当に助かります。もっとそのような施設が増えればいいなと思います。
- <父親からの意見>
- ・12/4の上毛新聞で富岡市主催のベビーマッサージ教室が紹介されていました。藤岡市でも同様の教室を開催しているのでしょうか。もししていないようでしたら、ぜひ子供とのふれあいを学べるこのようなイベントをおねがいします。
  - ・色々なイベントに参加してみたい。
  - ・室内で遊べる場所、情報がほしい。

### C. 子育てに困った時に相談ができ、情報も得られる場所を作って欲しい

[ 市役所子ども課、地域子育て支援センター ]

チェック数125、意見数69で、どちらの数も5番目の関心度となる設問でした。具体的な意見の代表的なものは以下のとおりです。

- ・現在は、深夜に熱が出た時などは、群馬県が設けている「群馬こども救急相談井8000」を利用する事があります。24：00まで電話で対応してくれる為、大変便利です。藤岡市でも便利で使い勝手の良い電話相談所を作って欲しいです。
- ・もう少し情報を得やすく、相談もしやすいと良いと思います。インターネット・スマホ対応など。
- ・「市役所子ども課」「地域子育て支援センター」を示し、子ども課や支援センターで相談できることを知らなかった。
- ・小さい子だけじゃなくて、小学生の子のカウンセリングも気軽にできるところがほしい。
- ・うちは幸い近くに両親がいて、育児の相談ができる友人や保育園の先生方と、恵まれた環境の中、子育てすることができていますが、そうでないお母さんも沢山いると思います。健診以外に生まれが近い子と触れ合う機会があると情報交換ができたり、子ども同士刺激になっていいと思います。ちょっとしたセミナーなんかしてもらえると嬉しいです。
- ・市役所子ども課は、相談するととても親切・丁寧に相談にのって下さいましたが、相談するまでは、何だか相談しにくい感じがしました。3ヶ月検診や1歳児検診等をもう少し少人数にするなどして、時間をとってもらえると有り難いと思います。(他にも色々あり、有り難いとは思いますが…)
- ・子ども課の方には、いろいろ困ったことがあると電話しますが、やさしくていねいに対応していただき、助かります。
- ・以前、子育てなやみ相談電話に相談しているとき、相談を受けた人が詰問するような言い方で相談しづらかった。また、結局、その場で答えることはできないから連絡先を教えろと言われて、相談の意味がないように感じた。相談しやすい雰囲気づくりが必要だと思う。
- ・支援センターの先生方はよく相談にのってくれて助かります
- ・先生をはじめ、色々な方と話ができ聞いて役立っています。(支援センター)
- ・子育て支援センターでは、ちょっとした事が相談できて助かっています。
- ・市役所子ども課で、自分が悩んでいるときに相談にのっていただきました。ひたすら聞いて下さり、はげましてくれたので、乗り越えられました。今でも感謝しております。このような場がもっと広く、たくさんの方に利用されるとよいのと思います。
- ・子育ての相談をしても、マニュアル通りの答えが返ってくるので、年配の先輩ママさんのような、ベテランの方に相談にのってもらいたい。子供を持っていない方に相談した時、育児を否定され、余計気分が落ち、子育てに自信が持てなくな

りました。

- 初めての子育てでは、小児科のこと、子供の成長のこと、色々不安になることがありました。子育て支援センターでは同じ悩みを持つママ、先輩ママ、たくさんの親子が集まっていたので話をすることで不安が解消されました。少子化の今、必要とする人の少ない場所かもしれませんが、子育てには不安や悩みはつきものです。増やすことのできない場所だとは思いますが、少しでも、のこして欲しいと思います。
  - 支援センターで信頼できる先生を見つけられたので満足していますが、親が人見知りだと、なかなか行くことができないと思うので、検診などで案内してもらえるといいのではないかと思います。
  - 私の経験ですが…結婚して見知らぬ土地に来て子供を産み、周りに友だちもいなくて淋しい思いをしました。自分が一步踏み出せばいいのですが、子育てで精一杯で、なかなかそんな勇氣もせず…健診の時の保健師さんとの会話がとても楽しかったのを覚えています。市役所というのがなんとなく入りずらかった様な気がします。もっと身近にだれでも入りやすい様な、そして、もっとこんな施設があるよとアピールしてくれるといいと思います。
- <父親からの意見>
- 近くに色々、子育てに困った時に相談できる場所があると便利。

#### D. 専業主婦など誰でも気軽に利用できるNPO等による保育サービスが欲しい

##### [ ファミリー・サポート・センター(会員登録制) ]

チェック数76、意見数42で、どちらの数も6番目の関心度であり設問の中では一番数が少ないものでした。具体的な意見の代表的なものは以下のとおりです。

- 一時保育やファミリーサポートなどがある事を、もっとアピールしてはいかがでしょう。
- ファミリーサポートや保育園の一時あずかりは少し高額な気がします。もう少し気軽だと利用してみようという気になります。
- 登録制だと、なんとなく専業主婦だと申し込むのに考えてしまいます。でも突然自分の具合が悪くなった時に、1時間でも気軽に預けられるととてもいいと思います。
- ファミリーサポートセンターの存在は知っているが、気軽に…という印象はないので利用できなかった。紹介などの意味も含めて、ファミリーサポートセンター主催の育児セミナーやイベントがあれば、会員の人の様子や顔がわかって安心して利用できるようになると思う。
- 専業主婦でも用事で子供をあずけたい時があるので、一時あずかりなどの保育サ

ービスはもっとオープンに宣伝してほしい。

- ・子供が小さい時ほど、一人でどうしたらよいのか分からないことが多いので、出産後の訪問の回数を増やして、直接家で不安やなやみを聞いてもらえると安心して子育てができるようになってと思っています。その中で、こういう保育サービスもあると話してもらえたら一人で悩まずにすむと思います。
- ・私は働いているので、保育園に出していますが、専業主婦の方も利用できるサービスはあった方が同じ主婦として必要だと思います。

<父親からの意見>

- ・近くに子どもを預けられる人（祖父母、親戚、知人等）がいない方にとっては、どうしても子どもを預かってもらいたい時に、気軽にお願ひできる場所があれば助かるはず。また、子育てに悩む人の気晴らしをする時間を作ることもつながるだろう。

#### E. 安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備して欲しい

[ 中学生まで医療費無料化、第3子以降保育料無料化、幼稚園就園奨励費 等 ]

チェック数233、意見数163で、どちらも1・2番目に数が多く非常に関心の高い設問でした。具体的な意見の代表的なものは以下のとおりです。

- ・子供が2人いるので、中学生まで医療費無料は、とても助かります。
- ・（現在実施していることを）そのまま続けて欲しいです。
- ・遅い時間まで受診できる医院があるといいと思います。
- ・小学生入るまで、子供は何度もかぜをひくものなので、すごく無料化なのはありがたいです。無料でくると、小学校・中学校でも無料でいてほしく、中学校まで無料は本当に助かります。第3子以降の保育料も無料は、やはりありがたいです。子供をもう一人…と思う人も増えるのではないのでしょうか。（保育料の引き落としってというのはむずかしいのでしょうか？こまかくなるので毎月両替が大変です…。）
- ・日曜・祝日でも小児科が必ずかかれる体制を整備してほしいです。現状では、当番院がありますが小児科が市内でかかれない事が多いと感じます。
- ・今は無料なので、とても助かります。よく風邪ひいたりするし、鼻をかんで！って言っても、なかなかかまらずにいたりするし…助かります。
- ・中学生まで医療費無料化は大変ありがたいです。
- ・今のままでありがたいです。
- ・予防接種（水ぼうそう・おたふく・インフルエンザなど）を無料にして欲しいです。
- ・子供の医療費無料化は、とても助かっています。途中で変わる事なく続けてほし

- い。
- ・少子化に歯止めをかけるためにも、高校生ぐらいまでは医療費の無料化を行って欲しい。
  - ・予防接種に対する市からの補助金を増やしてほしい。たとえば、水痘ワクチン、オタフクのワクチンは任意のため高額である。仕事で上記のような疾患は出席停止のため、仕事を休まなくてはならないため、予防接種をするが、自費が高い。夜間休日の小児科受診が大変。
  - ・現状で満足しています。
  - ・アレルギーの子も増えているので医療費の無料化は大変ありがたいと思うし、重症化する前に診察をうけられるのはいいと思います。
  - ・経済的に通院費で受診するのを悩むうちも出てくると思うので、医療費無料化は続けて欲しい。時間外の病院が市内に必ずある事を望みます。
  - ・小児科が少ない気がします。また産婦人科が数少ない事は致命的かと思います。生後3ヶ月(?)未満の子が受診する場合は、優先的に…と聞いたことがあります。医療機関によってはその辺の考慮も何もなかったりするので、融通がきくと良いのでは…と思います。
  - ・夜間休日など病気になった際、市内で受診できるような体制にして欲しい。
  - ・予防接種が自費が多いので、兄弟がたくさん居るととっても負担が大きいです。無料もしくは半額負担になるととても助かります。是非お願いします。
  - ・安心して子どもを医療機関にかけることができます。
  - ・夜間でも診察してもらえる病院が市内など近くにあると、いざという時とても助かると思います。
  - ・中学生まで医療費無料化、第3子以降保育料無料化、幼稚園就園奨励費、とてもよいと思います。
  - ・休日当番医や夜間の救急、緊急時などに小児科を受診できる体制をつくってほしい。(小児科の先生がいない、小児用の薬を置いていないなどと言われることがよくある。)
  - ・日曜日と祝日の当番医が広報に載っているが、小児科の当番医を必ず1か所は入れて欲しい。特に年末年始はとても不安です。
  - ・中学生まで医療費無料化：群馬県のこの体制は、他県から来た者からいうと素晴らしいと思います!!本当に助かっています。  
＜父親からの意見＞
  - ・接種が必要なワクチンの情報が欲しい。

#### F. 子育て支援全般について自由な意見をお聞かせください

- (例：・出産と子育てで退職した女性が復職しやすい環境整備をしてほしい
- ・男女が協力して仕事と子育てが両立できる社会にしてほしい

- ・父親が参加しやすい子育てイベントを増やしてほしい
- ・地域全体で子育て支援を進められるようにしてほしい 等 )

チェック数164、意見数145で、どちらの数も3番目に関心の高い設問でした。具体的な意見の代表的なものは以下のとおりです。

- ・施設など、多くの人が利用しやすいよう、もっとPRをして欲しい。
- ・安心して子育てができる社会にしてほしい。
- ・頼れる人がいないと、何かあった時に母親の負担（仕事を休んだりなど）があるので、何があっても男女が協力していける社会がよい。核家族でも仕事と子育てが両立していける社会にしてほしい。
- ・おじいちゃん、おばあちゃんが近くに住んでいないママが病気になった時のために、簡単な家事・育児でいいので何かサポートがあればいいなと思います。
- ・子育て支援は充実していると思いますが、子育てしている女性が働ける職場がなかなかないのではと思います。
- ・地域住人同士が固まる傾向が強い為、市外から来た人間としては、子育てしやすい場所である。情報を得やすい環境にしてほしいです。
- ・出産と子育てで退職した女性が復職しやすい環境整備をしてほしい。
- ・出産後、復帰した母親はやっぱり家事に育児に仕事となると負担がかかるので、父親の助けが必要だと思うのでそこを理解してほしい。休日にしか多くの時間を子供と過ごせない父親が多いと思うので、一番楽しめるような事ができたらいいと思います。
- ・児童手当がもらえるのはありがたいのですが、市県民税が年々高くなって意味がないような気がします。もう少し負担を減らしてほしいです。
- ・子育てをしながら女性が働くとなると、やはり大変なことで、家族や職場の協力がないと、なかなか続けられないと思います。フルタイムだとなおさら、残業、平日の休暇のこととなるとまわりの目も色々あり、むずかしいです。
- ・藤岡市はかなり子育てしやすい環境にあると思います。
- ・働かないといけないというプレッシャーと子育てをしなければというプレッシャーで精神的においつめられてしまうと思うので、働かなくても気軽にあずけられる施設や環境を整えて欲しい。金額が安いまたは、かからないとよりたすかると思います。そうすれば、もっと子育てに気持ちの余裕が生まれてくると思う。父親が家計を主に支えている場合、子供が体調を崩した等の時、母親がその子の面倒を見ることが多いと思います。母親が働こうと思っても父親が早迎えや休みをとってくれる等の協力がなくなるとなかなか仕事につくことができません。会社や社会で子供を育てている人に休みが取り易くなったり、環境を整えてもらえる安心して育児と仕事ができると思います。また、早くから保育園に出したくても、未満時の保育料は高くてその金額以上にかせげるか分からないため、入園のため

らってしまいます。少しでも保育料の負担が下がれば、むりなく仕事が始められ、自分の時間もできるので子育てにも心の余裕が生まれてくると思います。どうか少しでも仕事と子育てのしやすい社会になりますように願っています。

- ・私は出産（第2子）のため、仕事を退職して今は専業主婦をしています。もう少ししたら働きに出たいと思っています。子供がまだ小さい子育てをしている主婦が働きやすい時間勤務（例えば、10時11時～15時くらい）を作ってくれる職場が増えるとありがたい。
- ・地域全体で子育て支援を進められるようにしてほしい。
- ・子育てや子供の体調の事などを気軽に相談できる窓口をもっとキチンと機能させてほしい。
- ・地域のおじいちゃん、おばあちゃんが集まる場所に、子育ての親子も参加できればよいなと思います。同年代では話しにくいことなど（直接関係ない）お年寄りにきいてもらう。逆にお年寄りの子供の元気をもらうなど、よいと思います。
- ・女性にしても男性にしても、子育てが出来る期間というのは、子供が子供の時だけです。多くの方が子供に関わる事で、その子の人生が豊かになる様な社会のしくみになると良いと思います。

<その他(回答者)からの意見>

- ・今は家庭の形態が多様化している。父母が子育てするのは当然であるが、伯母や祖母が子育てをしている現状も実際にはある。父母以外の養育者の認定は難しいとは思いますが、子育て支援の中でも枠を作らず柔軟に対応して欲しい。

#### 問2の設問について

このアンケートに回答されている方の、保育施設を利用する子どもとの続柄を教えてください。（□に✓チェックを入れてください）

父親

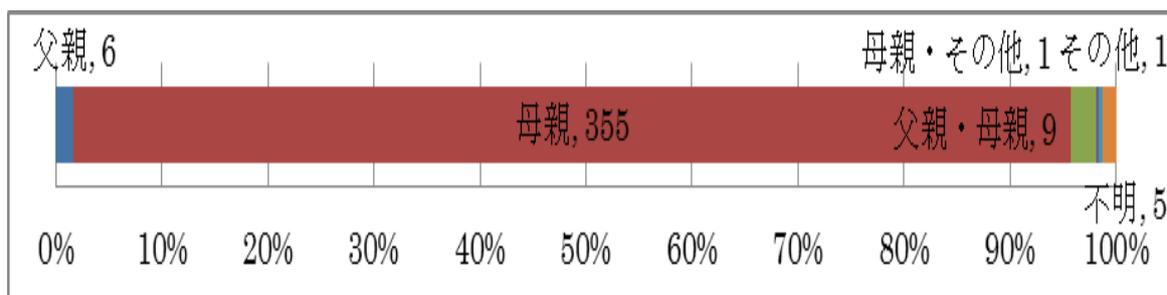
母親

その他

アンケート回答者についての設問では、回答数377に合わせてアンケートごとにカウントすると、父親と母親と一緒に回答しているもの、母親とその他保護者が一緒に回答しているもの、その他保護者単独のもの、回答者不明のものも含まれ、集計すると以下のとおりとなります。

父親	6件	1.6%	
母親	355件	94.1%	
父親・母親	9件	2.4%	
母親・その他	1件	0.3%	
その他	1件	0.3%	
不明	5件	1.3%	合計377件

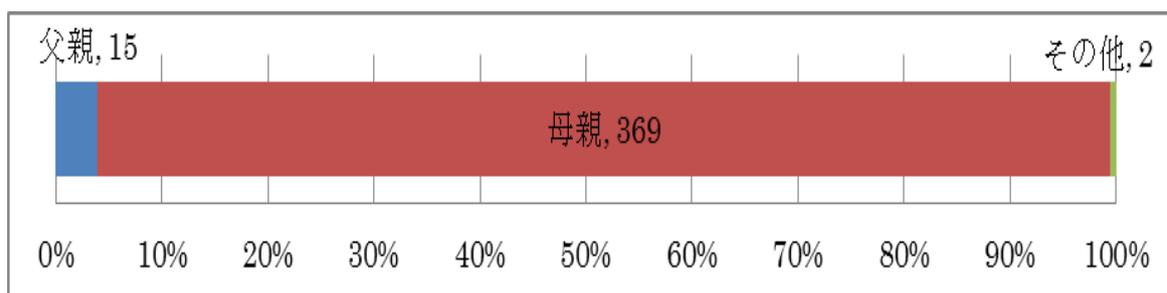
アンケート回答者割合（チェック状況）



また回答した人すべてをカウントして人数で集計すると以下のとおりです。

父親	15人	3.9%	
母親	369人	95.6%	
その他	2人	0.5%	合計386人

アンケート回答者割合（人数集計）



回答数の割合でも回答した人数でも母親のみからの回答がおよそ95%となり、子育てを担う割合が圧倒的に女性の母親であることが数字にも表れています。一方、父親は回答した人数で見ると15人で、回答者全体386人のおよそ4%しかこのアンケートに関わっていない状況であり、子育てを担う男性の割合がかなり低いことが想定されます。子育て支援を望む声や市など行政施策の評価の声だけでなく、男女共同参画社会の実現を望む声の大きさがアンケート集計結果からも想

像できます。

## 子育て支援ニーズについて寄せられた意見のまとめ

すべての設問に寄せられた意見を総合して集計すると、大きく分けて6つの意見グループに集約できます。

### 1. 保育の充実を望む声

子供が病気になった時や病後の保育についての要望51件や、休日や時間外の保育についての要望31件など、子供の病気や急な仕事などに対応する保育サービスを望む声が多いことがわかりました。

またA・Fの設問に対して学童保育に関する要望も19件寄せられ、その内訳は利用している幼稚園での学童保育設置を望む意見が15件、通っている小学校での学童保育の充実を望む意見が4件でした。

さらにC以外のA・B・D・E・Fの設問に対しての意見として、保育料や施設の利用料金の低減についての要望が29件ありました。

### 2. 安心できる医療体制を望む声

休日や夜間の小児科の診療体制に対する要望53件や、任意の予防接種の無料化や補助を求める要望31件など、診療体制に対する要望は、緊急時に市内で受診できるようにしてほしいという意見がほとんどでした。

### 3. 情報発信を望む声

さまざまな子育て支援サービスを「知らない」「内容がわからない」「もっと知らせてほしい」とする意見が49件あり、すべての設問に対して寄せられています。子育て支援の施策実施と共に、その施策に関する情報発信の重要性が示されています。

### 4. 藤岡の子育て支援を評価する声

藤岡市の子育て支援を評価する声も、すべての設問で130件寄せられています。その中で特に多く寄せられたものが設問Eに対しての意見で、中学生までの医療費無料化への評価の声が62件あり、設問Eへの回答の26.6%もある状況でした。

また中学生までの医療費無料化への評価と共に、加えて高校生までや成人するまでの医療費無料化への要望も7件寄せられています。

### 5. 職場環境の変化を望む声

出産と子育てが一段落した女性が安心して働ける職場環境を求める意見がAと

Fの設問に対して53件寄せられています。具体的な意見の代表的なものは以下のとおりです。(前述したA・Fの設問解説で提示した意見を除く)

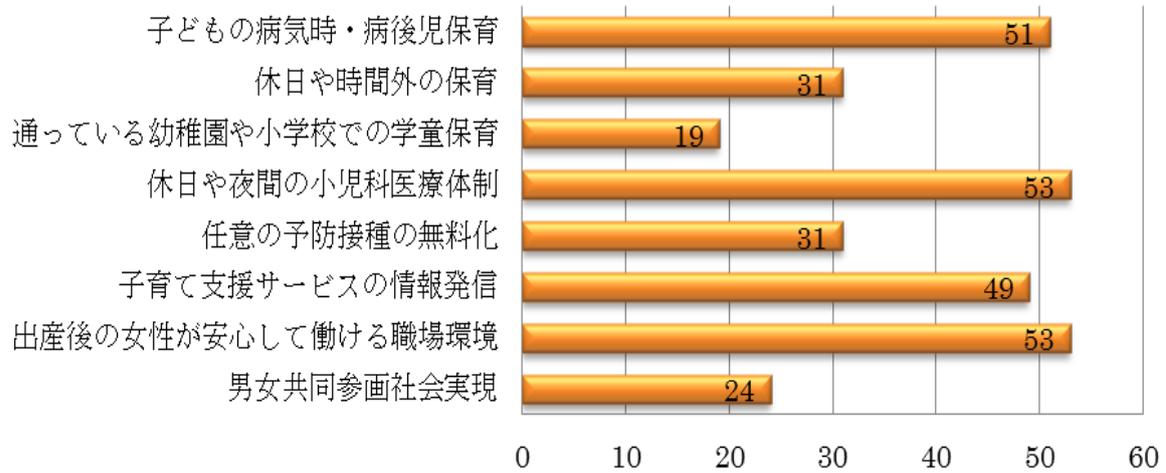
- ・出産で仕事を辞めた女性が再就職しやすい環境にして欲しい。
- ・どんなに子育てに良い設備、環境等整っても、結局は職場の環境、育児に対する考えが全てだと思う。そこが変わらなければ何も変わらないと思う。
- ・出産子育てetcで退職を余儀なくされても、その殆どの女性はまた正社員として働ける事を望んでいるのに、現実には正社員として働くことがかなわずパートとしてやむなく働きに出ているので社会全体で30代40代の子育て世代の女性にもチャンスを与えてほしい。
- ・仕事をしていて、子供が熱などでた場合、すぐに帰れるように(遠慮しないで)仕事場も制度を作ってほしい。
- ・親のために保育時間の延長や休日も預かっていただける場所があることは、共働きの家庭として安心して働けます。しかし、親だけでなく、親子と一緒に過ごせる時間を持ちやすくできるような、社会全体での支援が欲しいです。まず、子どもが病気だったら両親が気軽に休めるような職場の意識改革。休日出勤した親は、自分の休みの日に子どもを休ませてあげる(就学前児)ようにする。親が子どもの事も大切に考え育てられるような支援、教育をしてもらいたいです。
- ・出産と子育てで退職した女性が、復職したくても子供がいると言うだけで女性が働けず、もっと働きやすいようにして欲しい。(働いている女性で子供が病気とかでも働きやすい社会にして欲しいです。)
- ・民間企業では、出産・育児のために母親が失職するケースがまだまだあります。さらに小さな子供を持つと、どうしても病気などで休みが多くなってしまふ為、採用試験でもかなりきびしい状況です。「小さな子供＝リスク」となってしまうのは母親も次の子供を…とは考えられません。行政も民間企業へのさらなるアピールや教育などお願いしたいです。
- ・出産・子育てのある女性は、すぐに常勤では復職しにくいので(子供との時間も大切にしたいため)パートとして復職しやすい環境を重視してほしい。保育料や夫の扶養範囲など…。
- ・子供が小さいというだけで、パートの面接を断られた事があり、企業側にも子育て世代の受け入れを柔軟にしてほしい。
- ・子育て中の人を優先して求人出してくれると良い。働く場所がなかなかみつからない。

## 6. 男女共同参画社会の実現を望む声

男性の子育て参加を主とする男女共同参画社会実現を望む声は、設問Fに対してすべて母親から寄せられた意見で24件あります。その中には子育てに理解がある社会を望む声や地域が子育てに関わることを求める意見が18件含まれています。具体的な意見の代表的なものは以下のとおりです。

- ・共働きのため、子供が病気等にかかった時など、父親の方も休みやすいシステムを作ってほしい。
- ・子供との時間を大切にしたいため、平日のみの仕事をしたいが、なかなかそうはいかない。(土曜日は出勤してほしいとか) 男性も子育てや子供全般に対する教育を、個人の意思で参加とかではなく、会社や地域で推進してほしい。個人の意思だと参加しなかったり、協力しない男性もいる。
- ・子育ての負担は、多くの場合、女性の方が重く感じます。父親は仕事に専念できる環境をある程度は守られていますが、母親はやはり子供中心になるのは仕方ない事だとも思います。社会全体がもっと子育てに重きを置いてくれたらいいのになと思います。
- ・男女が協力して仕事と子育てが両立できる社会にしてほしい。保育園～中高生まで、スポーツクラブやPTA、育成会役員など保護者の出番、負担が大きい。仕事をするにも支障ある。社会制度が変わってほしい。
- ・子どもの体調不良の時、休むのは母親なので休みやすくしてもらいたい。まだ働く女性(子持ち)には、厳しい社会だと思う。土日祝は私が働いているので、父+子の子育てイベントがあると預けやすい。
- ・父親も、育休や病気の時に会社を休める環境を。
- ・男性も育児手当や育児休暇が保障されるとよい。子供が入院したりした場合、母親に負担が多く、休暇は取りにくい場合や状況がある為。常勤である為、厳しい状況です。
- ・子育て中の女性に限らず、男性も職場において肩身の狭い思いをすることなく、融通の利く環境整備をしてほしい。
- ・まだ日本は男性社会であると思います。男女が平等にというのであれば、男性の育児休暇を義務化するなど、北欧社会で実際に行われていることを積極的に取り入れなければ、子育てはどんどんむずかしくなってしまうと思います。
- ・“男女共同参画”とは言っても、子育てに関しては特に、圧倒的に母親(女性)の方にウェイトが置かれます。父親(男性)の子育てに対しての意識付のために、ex 父親向けの講演会 etc (企業(会社)に講師が出張又は企業(会社)が父親本人に参加を要請できるシステム)の数を増やしていただけたら…と思います。
- ・父親ももっと積極的に育児ができる様、気軽に育児休暇を取れる社会にしてほしい。
- ・社会で特に独身の方が子育て世代の気持ちをわかっていない発言を良く聞くので、そこを理解してもらえると伸び伸び子育てできると思います。
- ・男女が協力して仕事と子育てが両立できる社会にしてほしい → これは国がみとめてほしい。どんな会社もするべき!
- ・出産と子育てで退職した女性が復職しやすい環境整備をしてほしい。男女が協力して仕事と子育てが両立できる社会にしてほしい。

## 子育て支援について寄せられた要望



おわりに

少子高齢化で人口減少が進む我が国の社会は、男女が一緒になって力を合わせる必要がますます大きくなっています。子育てについても同様です。家父長的家制度の名残か、子育ての負担はもっぱら女性が担ってきました。1979(昭和 54)年に国連総会で採択され 1985(昭和 60)年に日本も締結した女子差別撤廃条約の前文には「子の養育には男女及び社会全体が共に責任を負うことが必要であることを認識し、社会及び家庭における男子の伝統的役割を女子の役割とともに変更することが男女の完全な平等の達成に必要である」としています。また平成 20 年の藤岡市男女共同参画計画においても「家庭生活における家事・育児・介護などへの男性の参画を推進します」「多様なライフスタイルに対応した子育て支援策の充実に努めます」とうたわれています。子育て中の父親や母親から「小さい子供がいると迷惑がられるので…」という声を耳にすることがあります。しかし子育て中は周りに迷惑が掛かることはあたり前の事なのではないでしょうか。そのあたり前の事を迷惑と感じない、やさしさを持った社会や地域の理解が必要とされています。かつての日本にあった、地域が関わる子育て環境が再び整い、男性も子育てに積極的にかかわることで、子育てにおける女性の負担が軽減し、女性の社会進出が促される。それにより設問 F への意見で紹介した「女性にしても男性にしても、子育てが出来る期間というのは、子供が子供の時だけです。多くの方が子供に関わる事で、その子の人生が豊かになる様な社会のしくみになると良いと思います。」とあるよう、本当の意味で男女共同参画が実現された社会に近づくのではないでしょうか。